

千葉県 沿岸重要水産資源 令和6年度資源状況

ホンビノスガイ



- ・ 大まき、小型機船底びき網などで漁獲される。
- ・ 海外では 100 歳を超える事例が報告されているが、東京湾では最大で 13 歳程度である。早ければ 1 年で殻長 30 mm に達する。
- ・ 産卵期は、東京湾では春～秋季の年 2 回（春、秋に稚貝が加入する場合が多い）と報告されている。

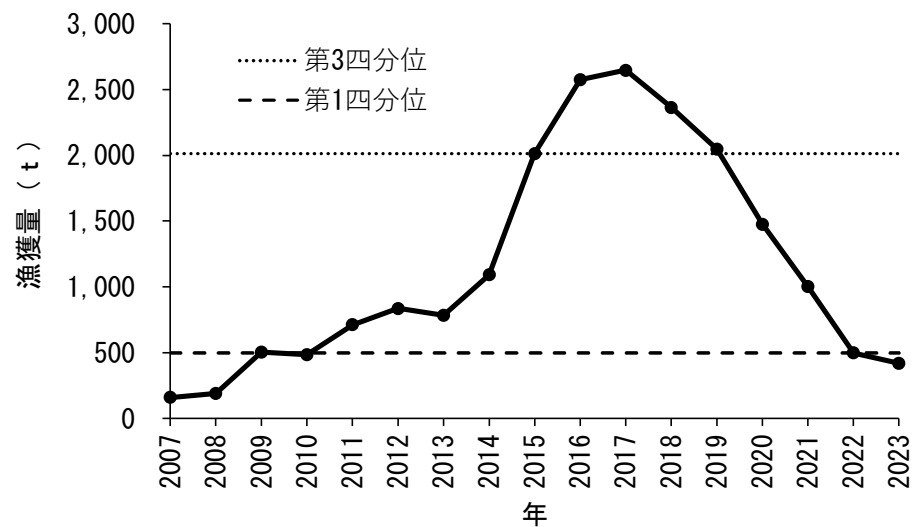
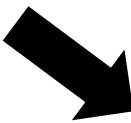
資源状況

漁獲量

水準：低位



動向：減少



内湾主要漁協におけるホンビノスガイ漁獲量の経年変化（千葉県調べ）

内湾主要漁協におけるホンビノスガイ漁獲量は、2007 年の 159 t から増減を繰り返しながら増加していたが、2015 年から急増し、2017 年には 2,646 t に達した。その後、減少し続け、2023 年は 419 t であった。

注) 資源水準は、原則過去 20 年以上の評価指標値（漁獲量）から四分位数により評価した。
資源動向は、最近 5 年間の評価指標の近似式から年間 5%以上の増減の有無により判断した。

資源状況の判断

- ・ 資源水準及び動向は、2007 年以降の漁獲量で判断した。
- ・ 2023 年の資源水準は低位、最近 5 年間の資源動向は減少傾向にある。

資源管理の取組

- ・ 大まき漁業では漁獲量、操業時間の制限など漁業者による自主的な資源管理が行われている。
- ・ 小型機船底びき網漁業では網目制限、漁獲量、操業時間の制限など漁業者による自主的な資源管理が行われている。